

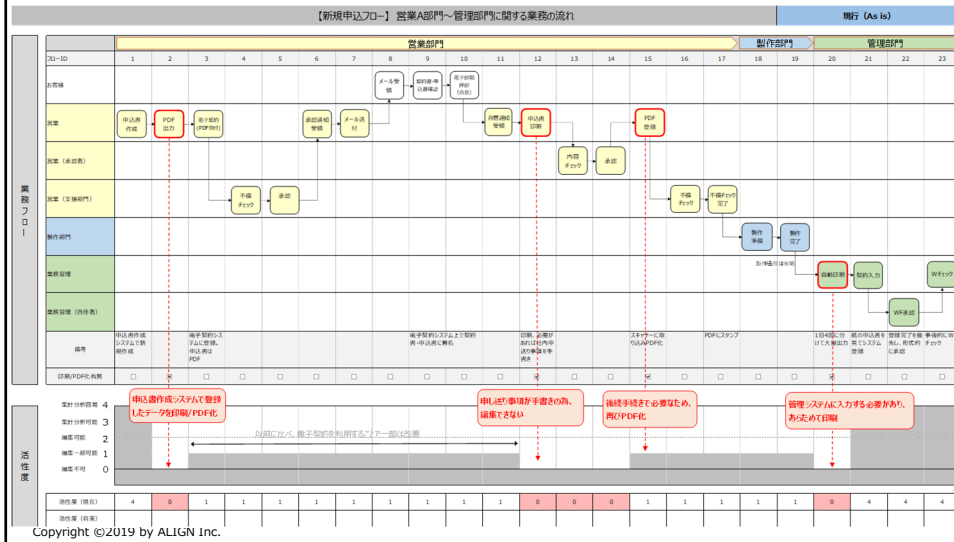
背景：

部門毎に業務改善を進めてきたが、事業拡大に伴うバックオフィスの効率化や生産性向上が課題となっており、可視化と課題の洗い出しが求められていた。



**目的
仮説**

- 事業拡大に伴うバックオフィスの大所帯化が目につく
- 業務改善には積極的に取り組んできたものの、改善が不十分ではないか



改善実績：

エンドツーエンドの業務フローを可視化して問題点を洗い出した後、BPRとシステム見直しを全社的・段階的に取り組めるようにした結果、各部門の生産性が大幅に向上。



実績

- システムの見直しスケジュールと業務変更の影響など精査して、段階的なBPRを推進
- 20%以上の営業手続およびバックオフィス作業の削減を達成

